

- 1 日時 平成24年11月〇日
- 2 学年 第6学年〇組
- 3 小单元 「長く続いた戦争と人々の暮らし」
- 4 单元について

○ 教材について

『小学校学習指導要領』では、第6学年の「2 内容（1）ケ」で以下のことを取り扱うように示している。

日華事変，我が国にかかわる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

この内、「日華事変，我が国にかかわる第二次世界大戦」について、『小学校学習指導要領解説』では、第6学年の「目標と内容」の「2 内容」において、以下のように示している。

例えば、我が国と中国との戦いが全面化したことを取り上げて調べ、我が国が戦時体制に移行したことが分かるようにしたり、また、我が国がアジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたことを取り上げて調べ、各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下など、国民が大きな被害を受けたことが分かるようにしたりすることである。また、これらの戦争において、我が国は、中国をはじめとする諸国に大きな損害を与えたことについても触れることが大切である。

これらを受け、本小单元では、日華事変（日中戦争）から太平洋戦争へと続く15年にわたる戦時体制に至った背景その経緯とこうむった被害、与えた損害について学習する。

資源の少ない日本は、1929年から始まった世界恐慌により国民生活の疲弊が深刻化した。その中で、中国やアメリカを始めとする連合軍との戦争を始め、長く厳しい戦争を続けることとなった。そして、軍は正しい戦局の報告もせず、国民や戦場となった地域の人々に苦難を強いながら、多大な損害を与えることとなった。

社会を見つめ、未来を問い続ける子どもを育てる上で、本单元の学習は欠かすことのできないものである。それは、単に戦争の惨劇を知り平和を願う心情を育むためだけでなく、戦争を通して民主主義や国際協調の大切さに気付くことができるという意味を含んでいる。そして、本小单元で学習したことは、戦後の民主化や日本国憲法、政治、国際社会について学習の中で生かされるものとする。

○ 子どもの実態について

本学級の児童は、素直で何事にもまじめに取り組むことのできる児童が多い。児童同士の関係もよく、積極的に自分たちの考えを交流し合うことができる。

社会科の学習については、「社会科の学習が楽しいですか」という質問に対し、27人中13人が「はい」、9人が「どちらかといえば、はい」と回答している。また、「社会科の学習で『なぜだろう』『調べてみたい』と思うことがありますか」という質問に対しては、27人中12人が「はい」、13人が「どちらかといえば、はい」と回答している。以上のアンケートの結果から、多くの児童が社会科の学習に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている姿がうかがわれる。

本小单元に関するアンケートも行った。戦争に対する児童の既知の知識のほとんどが、原子爆弾による被害であった。また、戦争の相手国については、27人中18人の児童が「アメリカ」と回答している。系統的・継続

的に行ってきた平和学習の成果と言えるが、15年間に及ぶ戦争として見た場合、断片的な知識しかもっていないと言える。一方でこれから学習するにあたって、「どのような戦争であったのか」「なぜ戦争しなければならなかったのか」など、戦争の全体像をとらえたいと考えている児童が多くいることが分かる。

○ 指導にあたって

これまでの平和学習の積み重ねにより、本学級の児童は原子爆弾の被害と広島の子の復興の様子についてはよく知っている。しかしながら、満州事変からポツダム宣言受諾に至る15年間に及ぶ戦争に対する認識は、当然のことながら低い。そこで、本単元では、この15年間に及ぶ戦争の背景と経過を丁寧におさえていきたい。

「であう」段階では、日本がアメリカ合衆国だけでなく、中国やイギリスなど多くの国々と広範囲で戦争を行っていたという事実と、戦時中に政府は国民に苦しい生活を強いていたという事実とに児童をであわせ、単元を貫く学習問題を立てさせたい。

「深める」段階では、「なぜ、政府は国民に無理を強いてまで、戦争を行ったのだろうか」という問いに答えるために、当時の国際関係を踏まえながら、日中戦争や太平洋戦争の背景や経過を調べたり、被害の大きさを調べたりさせたい。

「いかす」段階では・・・

5 小単元の目標

- 日中戦争，我が国にかかわる第二次世界大戦，その頃の国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産を通して，我が国が戦時体制に移行して，敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと，戦場になった地域に大きな損害を与えたことが分かるとともに，それらにかかわる代表的な文化遺産の意味を考えようとする。
- 日中戦争，我が国にかかわる第二次世界大戦，その頃の国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産から学習問題を見出し，文化財，地図や年表，その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに，我が国が戦時体制に移行して，敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと，戦場になった地域に大きな損害を与えたことや，それらにかかわる代表的な文化遺産の意味について思考・判断したことを適切に表現する。

6 小単元の評価規準

| 社会的事象への 関心・意欲・態度 | 社会的な 思考・判断・表現 | 観察・資料活用の 技能 | 社会的事象についての 知識・理解 |
|---|---|---|---|
| ① 日中戦争，我が国にかかわる第二次世界大戦，その頃の国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産に関心を持ち，意欲的に調べている。 | ① 日中戦争，我が国にかかわる第二次世界大戦，その頃の国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産について，学習問題や予想，学習計画を考え表現している。 | ① 日中戦争，我が国にかかわる第二次世界大戦，その頃の国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産について，文化財，地図や年表，その他の資料などを活用して必要な情報を集めて読み取っている。 | ① 我が国が戦時体制に移行して，敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと，戦場になった地域に大きな損害を与えたことが分かっている。 |
| ② 日中戦争，我が国にかかわる第二次世界大戦の歴史的背景や意味を考えようとしている。 | ② 我が国が戦時体制に移行して，敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと，戦場になった地域に大きな損害を与えたことや，それらにか | ② 調べたことを，白地図や年表，作品などにまとめている。 | ② 我が国が戦時体制に移行して，敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと，戦場になった地域に大きな損害を与えたことについて歴史 |

| | | | |
|--|--|--|-------------|
| | かわる代表的な文化遺産の意味などについて思考・判断したことを適切に表現している。 | | 的背景を理解している。 |
|--|--|--|-------------|

7 学習指導計画（全7時間）

| 過程 | ねらい | 主な学習活動と内容 | ■教師の働きかけ □評価 ☆資料 |
|------------------|---|--|---|
| 社会認識を育てる場 であう | 日本がアメリカ・中国をはじめ様々な国々と戦争を行った事実や終戦を迎えた人々の気持ちを想像する。 | <p>① 終戦記念日から第二次世界大戦についてどのような戦争であったのか、当時の人々はどのように感じていたのかを想像する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">8. 15は何の日だろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原爆ドーム ・ 原子爆弾の投下 ・ 連合国 ・ 日中戦争 ・ 太平洋戦争 | <p>■ 日本がアメリカ・中国だけでなくアジア各国や連合国軍など複数の国を相手にして、戦争を行ったことに気付かせる。</p> <p>□ 第二次世界大戦の終戦時の様子やその背景を探ろうとしている。[関①：ワークシート]</p> <p>☆ 写真「玉音放送を聞く人々」（教科書 p.137）</p> <p>☆ 写真「原子爆弾投下後の広島のみち」（教科書 pp.126-127）</p> <p>☆ 1942年ごろのアジア・太平洋地域の様子</p> |
| | 戦時体制のもと国民が苦しい生活を強いられたことを理解できるようにする。 | <p>② 戦時中の国民の生活の様子について調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">戦争中、日本の国民はどのような生活をしていただろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 衣料の切符制 ・ 食料の配給制 ・ 学徒動員 | <p>■ 衣料切符 100点で買えるものを調べることで、国民の生活が苦しいものであったことに気付かせる。</p> <p>□ 戦時体制のもと国民が苦しい生活を強いられたことを理解しているか。[知①：ワークシート]</p> <p>☆ グラフ「生活物資の生産状態の変化」</p> <p>☆ グラフ「動員された日本軍の兵士数」</p> |

| | | | |
|------------|---|--|--|
| | <p>学習問題や予想，学習計画を立てることができるようにする。</p> | <p>③ 前時までの学習から，単元を貫く学習問題を作り，予想や学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ，日本政府は，国民に無理を強いてまで，15年間も戦争を続けたのだろうか。</p> </div> | <p>■ 気づきや疑問に思ったことをしっかり出すように促す。</p> <p>□ 学習問題を立て，それに対する予想や考えを述べているか。[思①：ワークシート]</p> |
| <p>深める</p> | <p>日本政府が不況の打開や満州での権益を守るために戦場を中国全土に広げ，中国の人々に大きな損害を与えたことが分かるようにする。</p> <p>戦争の広がりを当時の我が国の状況に関連付けて考え，まとめることができるようにする。</p> | <p>④ 満州事変，日中戦争を起こした理由や戦争の広がりについて調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ，日本政府は戦争を始めたのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界的な不況 ・ 満州 ・ 満州事変 ・ 国際連盟の脱退 ・ 南京 <p>⑤ そのころの世界の様子，日本の戦争の広がりを調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ，日本政府は連合軍と戦争を行ったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次世界大戦 ・ 日独伊軍事同盟 ・ 真珠湾攻撃 ・ 赤紙 ・ 特攻隊 | <p>■ 地図と年表をもとに，中国の戦場が拡大していったことをとらえることができるようにする。</p> <p>□ 我が国が不況の打開や満州での権益を守るために戦場を中国全土に広げ，中国の人々に大きな損害を与えたことが分かっているか。[知②：発言，ワークシート]</p> <p>☆ 地図・年表「広がる中国の戦争」(教科書 p.129)</p> <p>■ 戦争に行く兵士やそれを見送る家族の気持ちを考えることができるようにする。</p> <p>□ 戦争の広がりを当時の我が国の状況に関連付けて考え，資源を求めアジアを支配しようとして米英などと対立し，戦争が広がったことを表現しているか。[思②：発言，ワークシート]</p> <p>☆ 地図「戦場となったアジア，太平洋の地域」(教科書 p.130)</p> |

| | | | | |
|------------|-----|--|--|--|
| 実践的な力を育てる場 | いかす | <p>戦争によって、兵士以外にも多くの日本国民や周辺諸国の人々が犠牲になったことを読み取ることができる。</p> | <p>⑥ 東京大空襲の写真やイラスト、空襲の被害を受けた都市の地図、朝鮮の人々の受けた悲しみがわかる資料などを調べて、分かったことや考えたことを話し合う。</p> | |
| | | <p>戦争がもたらす多くの被害について考え、戦争に対する自分の意見を表現することができるようにする。</p> | <p>⑦ 敗戦までの過程について沖縄戦の写真や手記、原爆投下や玉音放送の写真などを調べて、分かったことや考えたことを話し合う。</p> | |
| | | <p>日本国民や周辺諸国はどのような戦争被害を受けたのだろうか。</p> | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 空襲 ・ 焼け野原となった各都市 ・ 焼夷弾 ・ 多くの犠牲者 ・ 侵略 ・ 集団疎開 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本の空襲被害やアジア侵略等の様子がわかる写真やVTRを利用して、視覚的にも被害の大きさを捉えることができるようにする。 □ 戦争によって、兵士以外にも多くの日本国民や周辺諸国の人々が犠牲になったことを読み取りワークシートにまとめているか。[技能①②：ワークシート] ☆ 地図「空襲の被害を受けた都市」(教科書 pp.134) ☆ 資料「戦争と朝鮮の人々」(教科書 pp.131) ☆ 資料「第二次世界大戦でなくなったアジアの人々」(教科書 pp.136) | |
| | | <p>終戦を迎えた人々の気持ちをかんがえてみよう。</p> | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄戦 ・ 平和の礎 ・ ソビエト連邦の満州攻撃 ・ 日本の降伏 ・ 台湾と朝鮮の植民地支配の終わり | <ul style="list-style-type: none"> ■ 沖縄戦や原爆の様子を撮影した資料を見せ、戦争の様子を具体的に捉えることができるようにする。 ■ 当時の小学生になったつもりで、戦争が終わったときの気持ちを考えることができるようにする。 □ 戦争がもたらす多くの被害について考え、戦争に対する自分の意見を適切に表現しているか。[思②：発言，ワークシート] ☆ 写真「沖縄戦の様子」 | |

| | | | |
|--|---------------------------|-----------------------------|---|
| | 学習を振り返って、グループでまとめた年表をつくる。 | ⑧ 学習を振り返って、グループでまとめた年表をつくる。 | <p>■ 単元の中で使用した資料、グラフ、写真、気付き等を用いて年表に関連付けさせる。</p> <p>□ まとめた年表をもとに学習の振り返りができる。[関②:活動の様子, 作品, 自己評価]</p> |
|--|---------------------------|-----------------------------|---|

8 本時の目標

戦時体制のもと、国民が苦しい生活を強いられたことを理解できるようにする。

9 判定基準

| A | B | C児への手立て |
|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 戦時体制のもと、国民の生活・思想・教育等がすべて戦争一色となり、苦しい生活を強いられていたことを説明することができる。 | 戦時体制のもと、国民が苦しい生活を強いられたことを説明することができる。 | 衣料切符の制度から、国民の生活がどのようなものであったかを振り返らせる。 |

10 本時の学習展開 (第2時)

| 学習活動 | ■教師の働きかけ □評価 ☆準備物 |
|---|---|
| <p>1 前時までの学習を想起する</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本はアメリカだけでなく、中国やイギリスなどの多くの国と広範囲で戦争を行っていた <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>戦争中に、日本の国民はどのような生活をしていただろうか。</p> </div> | <p>■ 掲示物やワークシートを用いて、前時までの学習を振り返らせる。</p> |
| <p>2 衣料切符について調べたことをもとに、話し合う (予想される反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由に必要なものが手に入らない なぜ、このような制度を行っているのか ものが足りなくなっているのではないか | <p>■ 事前に衣料切符一人 100 点で買えるものを調べさせておく。</p> <p>■ 必要な衣類が十分にそろえることができるかを考えさせる。</p> <p>☆ 衣料切符の写真 (資料①)</p> |
| <p>3 二つの資料を読み取りながら、生活物資が減少し続ける原因を考える (予想される反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活物資の量がどんどん減っている 日本軍の兵士数はどんどん増えている 食料を戦地へ送ることを優先したのではないか 食料を生産する人がいなくなったのではないか | <p>■ 日用品や食料品が不足し、少ない物資を国民全体に公平に分配することを目的に、切符制や配給制が行われたことを伝える。</p> <p>☆ 生活物資の生産状態の変化 (資料②)</p> <p>☆ 動員された日本軍の兵士数 (資料③)</p> |
| <p>4 政府が戦時体制を強めていったことについて知る</p> | <p>■ 戦時中の政府が、国民の生活の充実よりも戦争がすべてであったことに気付かせる。</p> |

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦時体制 ・ 学徒動員 ・ 少年倶楽部, 良い子の友, 教科書 <p>5 当時の人々の生活の様子をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>国民が一丸となって戦争に協力することが求められ, 国民の食べ物や持ち物も限られ, 国民は大変苦しい生活をしなければならなかった。</p> </div> <p>6 振り返りをする</p> | <ul style="list-style-type: none"> ☆ 戦時中の標語 (資料④) ☆ 学徒動員の様子 (資料⑤) ☆ 少年倶楽部, 良い子の友, 教科書 (資料⑥) <p>■ 本時の学習問題の答えを自分なりの言葉で表現させる。</p> <p>□ 国民が苦しい生活を強いられた戦時体制の様子について理解できているか。[理①: ワークシート]</p> <p>■ 単元をつらぬく学習問題を立てるために, 前時で学んだことも合わせて, 積極的に疑問を出させる。</p> |
|---|--|

11 参考資料 (出典)

- 加藤 陽子『それでも, 日本人は「戦争」を選んだ』朝日出版社, 2009年
- 小林 英夫『これから先はどうか 日本近現代史を読み直す』新人物往来社, 2010年
- 大庭 邦彦 他『J r. 日本の歴史⑥ 大日本帝国の時代』小学館, 2011年
- 及川 英二郎 監修『歴史の流れがわかる 時代別 新・日本の歴史⑪ 大正・昭和時代 (前期)』学研, 2010年
- 鎌田 和宏 監修『調べ学習日本の歴史⑧ アジア太平洋戦争の研究』ポプラ社, 2010年

○ 6年社会科「長く続いた戦争と人々の暮らし」ワークシート②

6年 組 名前()

○衣料切符で買い物をしてみよう。何を買えるかな。

| 項目 | 点数 | 部屋着 | 20 | 下着 | 4 |
|---------|----|--------|----|---------|----|
| 背広 | 50 | 学生用コート | 17 | 手袋 | 5 |
| 国民服 | 32 | バスタオル | 10 | 水着 | 12 |
| ツーピース | 27 | 長袖シャツ | 12 | 運動着・ズボン | 12 |
| ワンピース | 15 | 半袖シャツ | 6 | 靴下 | 2 |
| コート | 50 | 長ズボン | 12 | 敷き布団 | 24 |
| 学童服(男女) | 17 | 半ズボン | 6 | 掛け布団 | 36 |

(1人1年間に100点です)

買ったもの

わかったこと